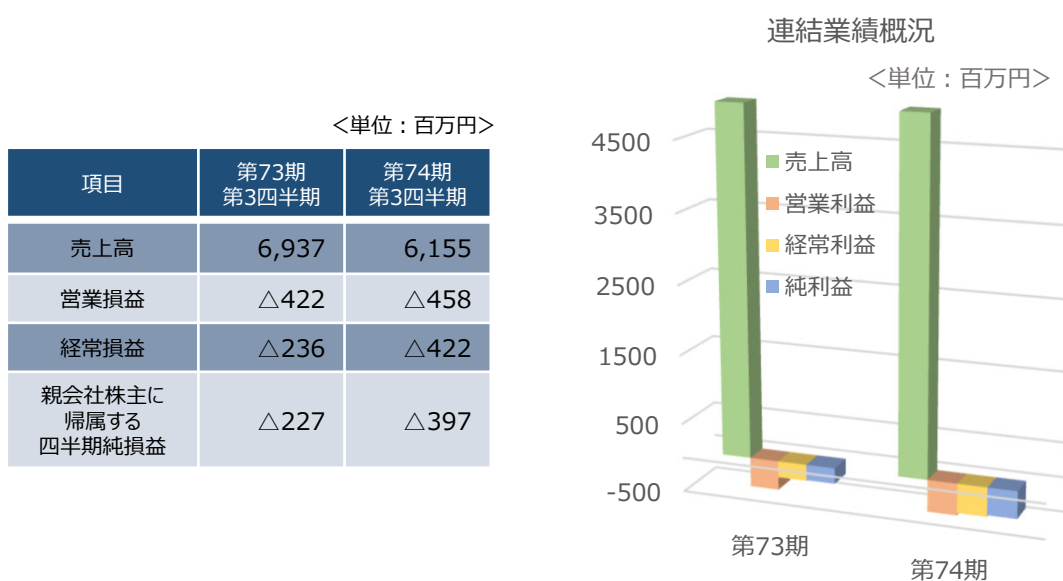


平成31年3月期 第74期 業績概要 第3四半期

桂川電機株式会社

当第3四半期連結累計期間（平成30年4月～平成30年12月）の業績は平成31年2月13日に発表した決算短信のとおりとなりました。



第2四半期で公表（平成30年11月13日）の通期連結業績予想を同決算短信のとおり修正いたしました。

<単位：百万円>

	2018/11/13 発表予想	2019/02/13 修正予想
売上高	9,300	8,500
営業利益	△200	△650
経常利益	△90	△630
親会社株主に 帰属する 当期純利益	△50	△600

市場の縮小や顧客ニーズの変化など業界全体が対応をテーマとするなかで、当社グループにおきましては、新製品の市場投入等、北米市場や欧州市場の潜在的な顧客層に対する大判型カラープリンターニーズを掘り起こすための活動を展開し、売上向上を目指しております。

また、安定した品質とコスト競争力を備えた新製品の開発、ならびに製品生産体制の効率化のために生産拠点の整理と集約を一層進め安定した製品の供給と更なるコストダウン及び経費等の改善による業績の挽回に注力してまいります。

当社従来の製品に加え今後成長が見込める新たな分野として、開発を進めてきました食器やタイルなどセラミック用途向けデカールプリンター KIP DDP 480 は、中国最大のセラミック展示会である『セラミックチャイナ2018(広州)』や『国際総合印刷展IGAS2018(東京ビッグサイト)』に出展し業界における従来手法の改革とご好評をいただきましたが、昨年10月よりアジア・中国地区を手始めに製品の出荷を開始しております。 今後は業界への本製品浸透と拡販を目指して参ります。

また、かねてより開発をすすめてきましたアパレル産業向け昇華転写捺染用カラープリンターは商品化の目処がたち『KIP EST480 システム』としてアメリカ最大のスポーツアパレル業界展示会ISS (Imprinted Sportswear Show) 2019 Long Beach (2019年1月18日～20日)に出展致しました。

当社新開発の粉体染料トナーと当社が長年培ってきたラージフォーマット電子写真技術を駆使した高速デジタル昇華転写プリンターおよび昇華捺染システム(Dye-Sublimation Transfer) は、業界において依然として主流である従来からのシルクスクリーン印刷や近年増えつつあるインクジェット方式による昇華捺染に対し、圧倒的な生産効率と作業環境の改善が得られ業界に変革をもたらすことと確信をしております。

今回の展示におきましてもスポーツアパレル業界への『高速デジタル昇華転写捺染プリントシステム』のすばらしい効率性・生産性と作業環境の改善効果をアピールし多くの反響を得たものと確信しております。



DDP 480、EST 480 双方とも依然として従来手法による生産手法が主流である業界に、最新のデジタル技術を取り入れ当社新開発の粉体トナーを用いたワイドフォーマットプリンターは、それぞれの業界において変革をもたらすものと確信しており、当社主要な製品群のひとつとなるように更なる開発と普及に努めてまいります。